



## かえでゆうびん 9月号

平成30年9月1日  
社会福祉法人 清松学園  
かえで保育園  
園長 引地 美津代

今年は、毎週のように「台風」が発生し、20号は兵庫県を直撃しました。幸運なことに保育園の開園時間内には雨一つ降らず、無事に降園していただいただけ安堵しました。夜遅くから雨風がひどくなり、ピーク時には窓を閉めているはずなのにふすまがガタガタと音を立て、窓の外は洗濯機の中のように窓をたたきつけるような雨風でした。

保育園のブドウやお米はどうなっているだろうか…窓ガラスは割れていないか…と不安な夜を過ごしました。台風が過ぎ去った後の町では、公園の大木が倒れたり、電線や信号機が曲がっていたり、灯台が根こそぎなくなっていたり、通常の台風とは違った被害が多く出てしまいました。以前は台風一過は青空、秋風と進んでいきましたが今年はまだまだ暑い日が続きます。来週にはまた台風の進路によってまた、心配な出来事が起こるかもしれません。天気予報での情報入手しながら対策を進めていきます。

幼児の自然グループでは、海・山・空の分かれて活動しています。自然の事象に気づいたり、気づいたことを自分で調べたり、わかったことをみんなに発表したりする習慣がつくことで小学校に進んだ時に自然と自ら感じた不思議に向き合うことが楽しいこととして学んでいけたらと思っています。ご家庭でも季節の移り変わりの空を観察したり、道端に咲いている草花の名前を探してみたりしてみてください。きっともっとも観察してみたいと思えると思います。

さて、かえで保育園では、「地域貢献」も大切な理念の一つとして運営しています。

保育園を中心に地域の方々や、学校・保育園・幼稚園との交流も深めています。また、卒園しても帰れる場所づくり、在園以外の方々も気軽に園を利用してもらえるよう子育て支援も多くのイベントを企画して地域みんなで育ちあうことを大切に日々保育計画をしています。

この度、浜脇小学校の校長先生から地域全体で取り組みとして『挨拶プラス1』活動のお誘いもいただき、参画して広げていきたいと思っています。園の門のところにのぼりを掲げています。

毎日の習慣として挨拶を交わすこれにもう一言プラスすることで会話となる。この活動こそ地域で育っている意識が深まってきます。『あいさつプラス1』活動を大切に皆さんにお声をかけていきたいと思っています。



また、玄関に『履物をそろえよう』のポスターをご覧になったことはありますか？子どもたちは脱いだ靴は揃えたり、向きを履きやすくそろえたりしています。送迎の際、保護者の方々もお子様の習慣を見ていただき揃えていただければ心も落ち着くと思います。是非試してみてください。

～ダンディタイム・かえでカフェのお知らせ～

9月19日(水) 10:00～

少し涼しくなっていますので『そうめん流し』を開催します。

子どもたちと楽しみますのでかえでカフェのお母さまにお手伝い頂きたいと思っています。

9月29日(土) ダンディタイム

15:00～ 運動会に向けて園庭整備をします。

16:30～ 園庭にピザ窯で事務長先生手作りのバジルを添えてピザや野菜などを焼いて園庭で語り合いませんか？お待ちしております。

## にこにこメッセージ

暑い暑い日が続き、園庭の木々も枯れそうな状況でした。今年は秋がやってくるのかと心配しましたが、園で飼っている鈴虫が「リーンリーン」と涼しげに鳴いてくれ、9月には秋を運んでくれることでしょう。

先日放送されていた、24時間テレビのテーマが「人生をかえてくれた人」でした。番組を見ながら、私自身も色々なことが思い出されました。私はこの方に出会ったので今の自分、保育の仕事が続けている私がいいます。

25年ほど前、当時勤務していた保育園の園長先生ですが、いつも明るく朗らかで、どんなことにも時間を惜しまず、耳を傾けてくれる方でした。当時は厳しいこともあり、仕事を続けていけるか悩んだこともありましたが、どんなときでも、「こんなことやってみたらどうかな?」「こんなことをやってみましょう」と前向きに取り組まれるところに惹かれ、私に保育の大切さや楽しさを言葉や心で教えて頂きました。結婚する頃には、家庭を大切にすること、夫婦円満の秘訣や子育てのことなどもたくさん伝授してもらいました。そんな先生も長い闘病の後、2年前に亡くなりましたが、私にとっての大切な人、いつまでも心の中で見守ってくれている気がします。これからも日々、先生の教えを大切に保育と向き合いたいと思っています。

主任保育士 藤森 寿美

## 【 せんせいからのおはなしコーナー 】

毎年夏に楽しみにしているのは高校野球です。生まれも育ちも西宮のため甲子園球場はとても身近な物ですが高校生が熱くなる場所が近くにあるというのはなんだか嬉しくなります。子どもの頃から甲子園球場に高校野球を見に行っていました。地元の高校とかは関係なく一生懸命に戦っている姿は胸がじーんとあたたかくなります。大学時代は売り子も経験しました。社会人になってからゆっくりと試合を見るのがなくなっていました。今年の夏は球場に足を運んで見るのが出来ました。あっという間に高校生よりも何歳も年上になったなと感じたり(笑)熱く戦っている姿を見るとどこの学校も関係なく「頑張れ」と応援したり。最後まであきらめずに頑張っている姿を見ると涙が止まりませんでした。

保育園の子どもたちも毎日一生懸命遊んだりご飯を食べたり友達と笑ったりしながら大きくなり、自分の一番好きな物を見つけて熱くなってほしいなと感じました。

林 千紗

ねらい：「身体をうごかそう・絵本を楽しもう」

う た：「どんぐりころころ、チョチチョチアワワ」

8月の暑い日差しの中、プールで水遊びをしたり、お部屋でのんびり遊びました。めばえのお部屋だけでなく、ふたば部屋にも遊びに行って、おままごとや積み木を楽しんでいました。いつもとは違う新しいおもちゃに、手をとっては確かめ、ふたばさんの遊ぶ様子を見ては真似して、と嬉しそうに遊んでいました。そして、めばえ部屋に帰ってからも、テラスへ出る扉を開けると先生より先にテラスに出てしまうほどでした。室内でもたくさん身体を動かしてくれています。



#### “つめたあい”

お水遊びが楽しい時期。テラスではタライにぬるま湯を張ってお水遊びをしています。手でバシャバシャと水をかいては、身体に掛かる水の面白さを味わっています。水がカップからジャーっと流れる様子や、じょうろからポタポタと落ちる様子をながめては手で触り、手でも目でも楽しんでいるようです。

また、ふたばさんが入っている大きなプールに入ることもあります。プールの中で歩いたり、寝転んだりしてよりダイナミックに水を感じて遊んでいますよ。自分でバケツに水を汲んでは上から勢いよくかぶり、楽しく過ごせました。



#### “のぼってくぐって…”

8月は猛暑のため、室内で過ごすことが多かっためばえさん。お部屋の中だけでは物足りない！とランチルームに遊びに行くこともありました。ピンクの巧技台にのぼったり、トンネルをくぐったりと身体を動かしました。

初めて巧技台を見ると「なあにこれ？」と不思議そうに手でパンパンと叩いてみます。叩いたあとは台の上に上半身だけ寝転がってひと休み。よし！楽しかった！と満足そうに他のところへ。そのあと先生が台の上のにぼってジャンプして降りると、「そうやるんだ！」と同じようにのぼっていました。高いところのにぼることが大好きなようで何度も上のにぼっては、嬉しそうに拍手していました。



トンネルでは、遠くに見える出口を見て確認しては先生の方を振り返り、「いっていいの？」と少し不安そう。出口の方から先生が「おいで～」と声を掛けると、はいはいで奥へ奥へとくぐっていきました。ゴールしてトンネルから出ると「ばあ～！」とにこにこの笑顔で出てきてくれました。たくさん身体を動かして元気いっぱいです。

#### “担任の思い”

水遊びの時期でしたが、体調によってはプールに入れない…という子もいました。たしかにプール遊びも楽しいですが、入れなくてもお部屋で楽しそうに遊んでいます。沐浴のときにお湯をバシャバシャと叩いてプール代わりに楽しむこともありました。ふたばさんになったらもっと入れるといいね、と今から来年の楽しみにしています。

今月は夏から秋に変わる季節ですね。風を浴びたり雲を見たりしながら一緒に秋を感じていけたらと思います。また、涼しくなれば園庭に出たり、お散歩に出てたくさん身体を動かそうと思います。

## ～ふたばぐみ～

ねらい：「プール遊びを通して水遊びを楽しもう」

う た：「とんぼのめがね」「きゃべつの中から」

わらべうた：「アシアシアヒル」「ここはてっくび」

8月はとても暑い日が多く、その日の気温や子どもたちの体調に合わせて保育を進めていきました。それでも子どもたちは外遊びが大好きで、部屋から幼児さんが園庭に出て遊んでいる姿を見ると、「僕たちもはやく行きたいよ！」と言わんばかりにその姿を見つめています。園庭に出ると、額に汗をいっぱい浮かべながらもたくさん遊んでいる毎日です。水分補給や休息もしっかり摂りながらももう少し、夏を満喫していきたいと思います。

### ～プール遊びたのしいな！～

8月はプール遊びをたくさんして遊びました。普段履き慣れないパンツも、先生がプールの準備を始めると、自分たちで取ってき、早く履きたくてしょうがない様子です。水遊びが大好きなふたばさん。ほとんどの子は大きなプールに入ることも抵抗がなく、大きな水しぶきをあげながら毎回楽しく遊んでいます。先生や友だち同士で水のかけ合いをすることも大好きで、顔や目に水がかかっても「もっかい！」と何度も繰り返して楽しんでいます。暑い日差しのもと、子どもたちの元気な笑い声が毎日響いています。



### ～赤ちゃんうまれたよ～

先月ふたば組のお部屋にやって来た、めだかさんたち。先生がえさをあげると「食べた～！」と水槽の周りに集まって観察することを楽しんでいました。いつか赤ちゃんが生まれるかな～とみんな話していたのですが、先日ついに卵を産んでくれました。小さな卵をいっぱいつけためだかを見つけると、最初は不思議そうな顔をしていた子どもたちでしたが、「これがたまごだよ！」と伝えると、「たまご～」とその日から卵の観察も始まりました。

1匹目の赤ちゃんめだかが誕生すると、あまりの小ささに「どこ～？」と言いながらも必死になって赤ちゃんを探していました。

そしてその日から次々生まれてくる赤ちゃんに「いたよ！」と嬉しそうな子どもたち。まだまだ孵化していない赤ちゃんもたくさんいますので、これからもたくさんの赤ちゃんめだかに会えることをみんな楽しみにしています。



お迎えに来た際には是非めだかを見に立ち寄ってみてください。

### “担任の思い”

夏の暑い日が続き、室内であそぶことも多くなりました。室内ではままごとや積木遊びだけでなく、パズルなどの机上遊びも提供し、子どもたちが集中して遊ぶことが出来る環境も整えています。言葉も少しずつ出てきており、遊びを通して知っている物や色の名前を教えてくれることもあります。また、「これ〇〇ちゃんの！」など自分の物を主張することも増えてきて、遊びの幅がさらに広がったように感じます。友達と一緒に遊ぶことも楽しめるようになっており、今後も様々なやりとりが見られるのを楽しみにしています。

## ～つぼみぐみ～

ねらい：「水遊びを楽しむ・友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ」

う た：「とんぼのめがね・おばけなんてないさ・どのこがよいこ・おてらのおしょさん」

暑い毎日を元気いっぱい過ごしていたつぼみさん。「あついね汗かいちゃった」と言いながら水遊びや蝉取りなど夏ならではの遊びに夢中でした。セミ取りでは木を見上げ、セミの音がする方に探しに行き見つけると友達に「ここにいたよ」と教えてあげていました。順番に虫網をもって捕まえようとしますが、難しく出来ないことも。幼児のお兄さんたちのさっと捕まえる姿を憧れの目で見ているのも印象的でした。



### ～そうめん流し～

7月にそうめん流しを経験したことが印象に残っていたようで遊びに繋がりました。幼児さんたちがじゃぶじゃぶ池で遊ぶ様子をまねてつぼみさんもそうめん流しを作っています。はじめはつなげ方が分からず手に持って水を流していました。だんだん慣れてくる



と椅子を積み重ねて長く水路を繋げて行き「おみずながしていいよ」と友だち同士声を掛けあいながら遊んでいます。上手く水路をつなげられない時には先生に助けをもらいながらですが自分たちで考えて工夫しながら遊ぶようになってきています。水が流れるとペットボトルのキャップを流し、「すごい、できた」と大喜びでした。一度成功したことで自信に繋がりそれから毎日のようにみんなでそうめん流しごっこを楽しんでいます。



### ～プール遊び～

つぼみ組になり始めての大きいプール！入る時の約束はきちんと守りながら顔を水につけたりばたばた水しぶきを上げたりワニさん歩きをして遊んでいます。プール遊びに慣れてきた頃、二人組でペアになりトンネルを作ってその中を他の子たちがワニさんになってくぐる遊びをしました。くぐっている子だけでなく、トンネルを作っている子もにこにこ楽しそうにくぐる友だちの様子を見ていました。プール遊びは水の感覚を楽しむこともそうですが「友だちと一緒に楽しむ」という経験もできてよかったと思います。

### “担任の思い”

ひとつの遊びでも子どもたちのアイデアや発見からいろんな遊び方に広がっていくようになりました。保育者からではなく子どもたち同士のやり取りが面白い遊びに繋がっていくんだと見て感心します。子どもたち同士で自然と刺激し合いながら成長しているんだと感じました。自分で考えながら積み木をしたり分からないことは友達に聞こうとしたりと大人との関わりよりも友だちとの関わりが増えてきています。そんな子どもたちの姿をそっと見守りつつ、時には手伝いながら一緒に成長を感じていきたいです。

ねらい：「できたことや嬉しかったことを友達と共有する」

う た：「とんぼのめがね」「むしのこえ」

8月に入って水遊びやプール遊びもどんどんダイナミックになってきました。とくにプール遊びでは去年に比べると、顔をつけてぶくぶくと息を吐いてみたり、フープを掴んで引っ張ってもらい、泳ぐ感覚を楽しんだりしました。自分の力で出来ることが増えていくのが嬉しいようで、「先生、見てて、こんなのできるよ。」など嬉しそうに話しています。「できた！」という嬉しさをたくさん経験できるよう、9月もいろんなことに挑戦していきたいです。



### “うみってどんなの？”

「うみ」の歌が大好きないぶき組。少し難しい歌詞ですが、「なつはひるね」という絵本を見ながら「海ってどんなのかな？」とイメージして歌ってみたり、図鑑で海の生き物を調べてみたり…。

大きな模造紙を広げると、絵の具を使ってペタペタ海を描きだしました。ただ塗るだけでなく、カップを使って泡を表現したり



りしていました。そこから好きな生き物を描いて、自分たちで描いた海に泳がせて遊んでいました。調べてからだったので

マンタやウナギなど知らないと思いつかないような生き物も

たくさん出てきました。また、シードラムという海の音ができる楽器を出すと、鳴らして音をよく聞いてたり、自分たちが波になって体をゆらゆらと動かしては表現することを楽しんでいました。



### “カメだらけ王国をつくろう”

園庭に大きな砂山を作っていると、「お山のてっぺんからさ、水を流してカメだらけ温泉をつくってあげようよ。」と話すお友達がいました。「カメだらけおうこく」という絵本のなかにてでくるカメが入っていた温泉をイメージしたようで、それからみんなで温泉づくりが始まりました。



ひかり組やだいち組にも協力してもらいながら、大きな温泉ができあがると、カメさんを連れてきて、温泉に入れてあげました。

「気持ちいかな？」「嬉しいかな？」とカメさんが入っている様子を見ては嬉しそうにしていました。

### “担任の思い”

今までの経験があそびに繋がっていき、周りのお友達と気持ちが通じると、目をキラキラさせながら嬉しそうに遊んでいます。そんな経験が最近増えてきて、自分たちで考えながら遊びこむ様子が見られるようになってきました。「やってみたい！」「こうしたらどうなるかな？」などの思いが、お互いに伝わったとき、遊びがどんどん広がっていきます。子どもたちのアイデアがおもしろく大人が見ていて「なるほどなあ。」と思うこともたくさんあります。そんな子どもたちのアイデアや、言葉を拾いながら、一緒に遊びを深めていきたいと思ひます。

林 奈津美

## ～ひかりぐみ～

ねらい：「友だちと一緒に遊ぶことを楽しもう」

うた：「ゆうやけこやけ」「むしのこえ」

暑い暑い夏から朝と夕方は風が涼しい季節になりましたね。「今日はきれいな青色の空」「気持ちいいね」「あの雲ハートの形してる」と築山に寝転びお友達と顔を見合わせながら過ごす中で、子どもたちも季節の変化を感じているようです。先月からの色水遊びや色砂づくり、色染めも繰り返し遊ぶ中で、色の違いや変化を楽しんでいます。一緒に遊んでいたこと「部屋入ったらコマまわし勝負しようね」「アイスクリーム屋さん一緒にしよう」と自ら声をかけて遊ぶ姿も増えてきました。色への興味から1つ1つの遊びの中で様々な発見を見つけて、新しいワクワクが増えてきたようです。

### “ふれあいからプール遊び”

以前から2人組でのふれあい遊びを続けています。お友達との身体のふれあいから2人組での手押し相撲や手を繋いで背中を合わせて2人で協力して立ってみようかと挑戦していました。始めはなかなか立てず…どうしたらいいかな？と2人組を変えてみて「できた！」「じゃあさっきやってた〇〇ちゃんとしよ！」ともう1度一緒にしていたお友達と何度も挑戦していました。

ふれあい遊びを通してプール遊びでは忍者ポーズで水の掛け合いをしたり、2人組でワニの散歩から足で壁を蹴ってのお散歩をしました。水を掛けられると顔を隠しながらも笑顔が溢れていました。「揺らしてみたら大きい波ができた」と水の中で見える景色を先生やお友達に話してくれました。



### “合奏ごっこ”

園庭にある竹楽器を太鼓に、細い竹をフルートに見立てて下駄を履きながら楽器隊がやってきました。どんぐりの木の下の平均台を見つけると、平均台を舞台に見立てて合奏ごっこが始まりました。その様子を見ていた子が「ねえこうする人って知ってる？」と竹棒を持ってリズムよく振って「ぼく指揮するわ」と一言。「本番まで練習するからちょっと待っててよ」と舞台から離れて松の木の下で練習をしていました。合奏が始まると歌を歌いながら音を奏でていました。

最後は「ありがとうございましたのお辞儀もね」としっかりお客さんに礼をしてから「次は何の歌にする？」と楽しんでいました。



### “担任の思い”

子どもたちから始まる遊びはいろんな遊びに繋がって、それぞれ表現しようとしていること、お互いに受け止め認め合いながら子どもたちの物語が進んでいるように感じます。子どもたち自身からも自ら関わりを持とうと歩み寄る姿も見られるようになってきました。お互いに言葉で話すことで分ちあい、一緒に遊ぶ楽しさを知るきっかけにもなっているようです。私自身も日々子どもたちから学んでいることがたくさんあります。楽器とのふれあいから音に興味を持って楽器作りやもの作り、自分が想像して作りたいものを形にする経験をこれから増やしていきたいです。私自身からもきっかけづくりをしていきたいと思います。

日笠 加菜

## ～だいちぐみ～

ねらい：「友だちと力を合わせる喜びを味わう」「丁度良い音や声の大きさに気付く」

う た：「むしのこえ」

お盆の時期にはお休みの子もいたため、久しぶりに友だちや保育者と顔を合わせると「何か久しぶりやな～」「あ、髪切った？」とやりとりを楽しんでいるようでした。お出かけをしたり夏のあそびを楽しんだりと少し体が疲れている様子の子も見られましたが、園での生活リズムを徐々に取り戻していきました。

笑顔が沢山見られたプールあそびでは「泳ぎたい」という声が多く聞かれました。自分の力で進むことが出来たり、水の中で息が出来るようになったり、今年の夏も一つ大きくなっただいちさんです。園庭で育てているお米が育ち、稲穂が少し膨らんでいます。すずめが食べに来るかもしれないと知り、三つ編みをして手作りの網を作成中です。

室内では自分のしたいあそびが見つかると、1日を通して継続して楽しんでいます。「〇〇がしたいから、今日も保育園に早く行きたい！」と思えるぐらいに、それぞれの楽しみが見つけれれば嬉しいですね。

“うみにお船を浮かばせて～♪”

プールあそびが始まり、水に触れる心地よさを味わう中で『うみ』の歌を取り入れてみました。御前浜に出かけたことはあるものの、歌の中に出てくる海の表現からイメージが浮かんでいるのだろうか…とふと思いました。そこで、“海”を様々な形で楽しむことで、より歌の世界に入り込み興味や想像することに繋がっていくのではと考えました。

まずは“波”シードラム(楽器)を鳴らし、波の音を耳で聴いてみます。音を聴くだけで自然と身体が動き、全身で波を表現している子もいました。次に、グループに分かれて模造紙に海を表現しました。(ランチルームに掲示しています)深海をイメージする子もいれば、力強い波の動きを表現している子、雨の水が溜まり量を増した海が見えている子など、様々です。

ある日のこと、Aちゃんが担任と室内で過ごしている時のことです。

「積木コーナー次は何を作ろうか」と尋ねてみると、「うーん、次は海とか川とか作りたい」と話していました。すぐに取り掛かることは無かったものの、その日の会話をよく覚えていたAちゃんは、1か月近く経った頃昼食を食べながら「そうやった、海とか川とか作ろうって言ってたんやった！今日作りたい、今日のうちに全部作りたい！」と突然思い出したように言葉が溢れ出し、作りたい気持ちがもくもくと膨らんでいきました。宣言通り、昼食後すぐに積木コーナーに向かい、話し合いが始まります。



今まで積木で表現してきたものといえば、全て四角や丸で囲みをつくり、積み上げてきました。しかし限りのない海を表現するとなると、難しいものです。「四角にしたら、また水族館の水槽と同じになっちゃうもんね…」そこで、歌の中にも出てくる“波”を積木で表現してみることにしました。

「わ～本当だ！本当に波みたい、きれいだね」少し後ろに下がり全体を見ると、自分たちの積んだ積木が波打っていることに気付き感動していました。

どのような海にするかと話していると、Aちゃんが一冊の絵本を持ってきてくれました。『にじいろのさかな』有名なお話ですが、きらきらと光るうろこがとっても魅力的で、淡い滲んだような色合いの世界観が素敵な絵本です。

丁度その頃、障子紙を染めるうち作りが盛り上がっていました。絵本の中の世界観を絵の具の“滲み”で表現出来るのではと思い、絵の具と霧吹きで滲み絵にも取り組みました。(積木コーナーの背景になっています)そこへ水色の布を一枚用意すると、「海には貝殻がいるよね」「そうだ、前に沖縄で拾ってきた貝殻があるよ」

「貝殻を耳に当てると、ざーって音がする」と積木木を積む段階では興味を示していなかった子も、どんどん海の世界に引き込まれていきました。ひかりさんが昨年から心に残っていたカップの“ガータロ”をLaQで作る子も出てきました。「ぼくはガータロのスイカ作ったよ！ひかりさん喜ぶかな」とにっこりいい笑顔！

そして同じ頃、プールあそびの前に船のおもちゃをプールに浮かばせてみると…「うみの歌と同じだね」「波が見える!」と、船が揺れ動く様子を楽しそうに見つめていました。絵画あそびで継続して楽しんでいた牛乳パックの製作を通して、牛乳パックの船づくりに挑戦する子の姿もありました。友だちの船が積木コーナーの海に浮かんでいるのを見て、「僕も作りたい」と興味がわき、友だち同士で教え合う姿も出てきています。



他にも絵本の中に登場するカニやヒトデ、にし魚を作る子がいたり、素敵な仲間が日に日に増えていきます。子どもたちのイメージする海が、そして物語の中の世界が、どんどんと形になりあそびが広がっていく姿を見ると、これからどのように膨らんでいるのかわくわくします。

### “担任の思い”

想像やあそびが膨らんでいる時に見せる子どもの笑顔は、本当に輝いていますね。あそびを通して気持ちを共有したり通じ合う瞬間は、大人までも心がうずうずするような、喜びが湧き上がってくるような感覚です。果てしなく続く子どもの想像力が止まることなく続いていくために、友だちとのやりとりや、“やってみたい”と思った時に取り組める環境を大切に守っていきたいと思います。だいち組だけでなく、いぶきさんの作った個性豊かなかめが泳いでいたり、“波の音が鳴らせるように”と置いているシードラムを手に取り、心を落ち着かせるようにしばらく鳴らしているひかりさんがいたり、色々な子がうみの世界へあそびにやって来ます。保護者の方も一息つきたい時、子どもたちの作ったうみの世界に寄り道をして、波の音に癒されてみてはいかがでしょうか…♪



河本 彩奈

### めばえ・ふたばからのお知らせ

- ・与薬依頼書の使用  
保護者の方から気管支拡張剤のお知らせがないままのことがよくあります。使用される場合は、必ず依頼書が必要となりますので、保育者へ提出して下さい。ない場合は園で外させていただきます。
- ・微熱・下痢があつての登園は症状が重篤になる場合がありますので必ず受診するか症状が軽減するまで休んでください。
- ・火災など、避難が必要な際には登園の靴を使用しますので、サンダルなどの歩きにくい靴での登園はご遠慮ください。

### つぼみ・いぶき・ひかり・だいちからの お知らせ

- ・これから園外に出かけます。夏の間には靴のサイズが変わっていることがありますので必ず確認ください。
- ・また、登園は9:30までをお願いします。
- ・週末にはロッカーの点検。帽子のお洗濯をお願いします。

## 保護者の方からのおはなしコーナー

先日、私たち夫婦はささいなことからケンカをしました。その翌日、息子が私のそばに来て、「ママ、パパにあやまったん？」と聞いてきました。「まだ」と答えると「このままでいいん？あやまらんかったらずっとこのままやで！！」と言われました。

まだ4歳ですが、その大人びた口調に悟され、私と主人は仲直りしました。いつも甘えん坊の息子。そんな息子の成長に驚き、少し寂しい気持ちになりつつも、あの時の息子を思いだし、頼もしくも思います。

ひかり組 さなえさん

保育園での生活もすっかり慣れ、とても楽しんでいるように思います。

先生の顔を覗き込んでニコッと笑う顔や走りながらクルッと回り先生のお膝の上にドスンと座る姿を見て、お家でしている事と同じだなあ〜と笑ってしまいます。

リラックスして過ごせている事に感謝です。

めばえ組 あやかさん



「かあさん、だいじょーぶ？きっとだいじょーぶだよ…」背中をさすりながらそっと言ってくれた娘。

私自身が落ち込んでボーっとしている時に行ってくれました。反省と同時に胸にこみ上がるものがありました。

いつもふざけて園ではお風呂上りと思うぐらい汗だくで走り回っていますが、体だけでなく精神的にも成長している娘を頼もしく感じました。

いぶきぐみ つぐみさん

仕事終わり、お迎えにいくと

「おかえりー！！」と笑顔で走って飛びついてくれる瞬間、一日の疲れも忘れて癒されます。

つぼみ組 ゆみこさん

おしゃべりが、どんどん上手になってきました。最近では「〇〇ちゃんちえと△△ちゃんちえと〜」と一生懸命お話してくれるようになりました。

残念ながら、何を言っているのかちゃんと聞き取れないのですが…。毎日楽しそうに先生のお話をしてくれます。日頃から先生方が愛情をもって関わってくださっているんだなあ…と感謝しています。

ふたば組 みよこさん

## ～お台所から～

今年の夏は猛暑続きでしたね。

子どもたちは流しそうめんや、夏野菜の収穫などたくさん夏の思い出を作ることが出来たと思います。

さて、これからは実りの秋。旬の食材を取り入れたおいしいごはん、おやつを作っていきます。

### 7月の食育活動の様子

・だいちゃん2人組で毎日ご飯当番という活動があります。まずはお米研ぎ当番。

4月から続けているのでだいぶ慣れてきたようです。少し前までは自分が入りたい！

（落ちたお米）〇〇ちゃんも拾ってよ！とあれ？けんかしてる？と思うこともしばしばでしたが今はスムーズに進み、動作に丁寧さも出てきて成長を感じる毎日です。

お昼になると当番2人が真っ先にランチルームに降りてきてテーブルにお花を飾ったり、

ティッシュ、台布巾をセッティングします。

そしてだいちゃんが一番楽しみにしているのがご飯の盛り付け。

「ご飯どのくらい食べますか？」「お野菜多めですか、少なめですか？」と聞いてから盛り付けます。いぶきさんにはお皿の置く位置を教えてあげたり、落とさないように気をつけてね。と優しく声を掛ける姿にほっこりします。

こうした当番の活動を通して自分の役割に責任を持つことや、思いやり、ご飯を美味しくするように盛り付けることなど経験を通じて学んでいければと思います。



カレーの材料を幼児さんみんなまで皮むきました。

### 8月の献立 旬の食材

・さつまいも・ごぼう・しめじ・まいたけ・ピーナーネ・梨

### 8月に予定している食育活動

- ・おやつじゃがいももち作り（だいちゃん組）
- ・たまねぎの皮むき（いぶき組）
- ・にんじんの皮むき（ひかり組）
- ・しめじ、まいたけをさく（つぼみ組）
- ・お誕生日ケーキの果物のトッピング（はまグループ）



- 3日から保育の実習生を受け入れます  
(神戸女子短期大2名。松蔭大1名)
- 9月12日(水)～20日(木)は敬老週間です。  
おじいちゃん、おばあちゃんと一緒におやつを  
食べたりゆったりとした時間を過ごして頂きたいと  
思います。お会いできることを楽しみにお待ちしております。
- 19日夕方コンサートを開催します
- 21日 クラルテの人形劇を鑑賞します
- 29日ダンディタイムによる園庭整備と懇親会を  
します

### こんなことしたよ♪

今年も小学生のお兄さん、お姉さんがたくさんお手伝いに来てくれました。  
また、今年はお手伝いで楽しかったことを写真と一緒に日記に書いてもらいました。  
その中からいくつか紹介したいと思います。  
掲示後はファイルにまとめますので、是非他の子どもたちの感想もご覧ください。

ひさしぶりにみんなとあえて、うれしかったです。またみんなとあいたいです。  
またみんなとあそびたいです。 1年生

2かいの部屋でぬりえをしました。  
いろいろなぬりえがあって楽しかったです。  
外では、なつかしい遊び道具がいっぱい  
ありました。「なつかしいなあ」と思いながら  
遊びました。  
おもしろかったです。来年も遊びに行きたい  
です。 3年生

2階の部屋でみんなと遊びました。トランプ  
やいろいろなおもちゃでゲームをしたりしまし  
た。はじめてやるものが多かったので教えて  
もらったりしてたくさん遊びました。  
ご飯はカレーでおいしかったです。そのあと  
は本を読んであげました。久しぶりにたくさ  
ん遊べて楽しかったです。 5年生



- プール遊びは終わりますが、シャワーの有無などの健康調査票への記入を忘れずお願いします。  
記入漏れがありますと、園外保育などに参加できない場合もあります。  
必ず、検温、降園予定時間、迎えの予定者の記入をしてください。



### 《9月の予定》

- 7日 絵画
- 12日～20日 敬老週間
- 19日 夕方コンサート♪クッキーハウス♪  
\* 7月大雨のため延期になった会です。  
保護者の皆さまもぜひご参加下さい。  
かえでカフェ そうめん流し
- 20日 子育て支援(すまいる)
- 21日 クラルテによる人形劇  
月例健診  
めばえぐみ懇談会 17:30～
- 28日 ふたばぐみ懇談会 17:30～  
絵画
- 29日 ダンディ・タイムに  
園庭整備 15:00～  
懇親会 16:30～  
(後日お知らせします)

- 6・13・20・27日 体操  
\*体操服の着用をお願いします

### 《10月の予定》

- 13日(土) うんどう発表会
- 22日～11月22日(11/12～16 除く)  
保育参加(後日お手紙配布します)
- 24日(水) つぼみ・幼児 弁当日